

溪和会江別病院 平成29年度病院指標

7. その他(DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率)

D P C	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固	同一	-	-
		異なる	10	0.35%
180010	敗血症	同一	-	-
		異なる	16	0.56%
180035	その他の真菌症	同一	-	-
		異なる	-	-
180040	手術・処置の合併症	同一	14	0.49%
		異なる	-	-

同一とは、入院のきっかけとなる疾患と入院中に主に治療を行った疾患が同一であるか否かということです。
 播種性血管内凝固（症候群）は、さまざまな重症の基礎疾患により、全身の細小血管内で血栓ができる病態です。
 感染症や悪性腫瘍等に合併することが多い疾患です。
 敗血症とは、体内で感染症を起こしている場所から血液中に病原体が入り込み、重篤な全身症状を引き起こす疾患です。
 手術・処置の合併症の内訳は、主に術後や処置後の出血、感染で占めており、脳室頭蓋内シヤントの機能不全や透析シヤントの閉塞の症例などが該当しますが、いずれも適切な治療を行っています。